

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場会社名 ハリマ化成株式会社
 コード番号 4410 URL <http://www.harima.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(氏名) 長谷川 吉弘
 (氏名) 金城 照夫
 配当支払開始予定日

TEL 06-6201-2461

平成20年12月10日

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	19,525	—	625	—	634	—	323	—
20年3月期第2四半期	19,005	7.9	807	△18.0	943	△16.6	1,861	84.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	12.45	—
20年3月期第2四半期	71.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	48,724	—	28,226	—	56.0	—	1,050.21	
20年3月期	48,696	—	28,573	—	56.8	—	1,065.12	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 27,263百万円 20年3月期 27,652百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.8	1,450	△4.5	1,600	△11.7	870	△66.6	33.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 26,080,396株 20年3月期 26,080,396株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 120,367株 20年3月期 118,384株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 25,961,491株 20年3月期第2四半期 25,966,687株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国の経済は、原材料価格高騰による企業収益の圧迫や米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機、株価・為替の急激な変動等による世界的な経済成長の鈍化により、景気の減速感が強まり、事業環境の悪化が一層鮮明になる展開となりました。

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は195億2千5百万円となり、前年同期に比べ5億2千万円(2.7%)の増収となりました。

利益面では、国内事業につきましては、原材料価格の高騰に対して、価格修正による収益確保を最重要課題として取り組みましたが、厳しい結果となりました。一方、海外子会社につきましても、米欧の景気減速の影響を受ける結果となりました。

その結果、営業利益は6億2千5百万円で前年同期に比べ1億8千1百万円(△22.5%)の減益となり、経常利益は6億3千4百万円で前年同期に比べ3億9百万円(△32.8%)の減益となりました。四半期純利益は3億2千3百万円で、前年同期に比べ15億3千7百万円(△82.6%)の減益となりました。これは、前年同期の過年度法人税等の戻し入れがなくなったためであります。

なお、「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

(樹脂化成事業)

当期間中の国内の塗料業界は船舶・コンテナ用塗料が堅調でしたが、住宅着工戸数減少のため建築用塗料が低調で、全体としては、ほぼ横ばいに推移しました。印刷インキ業界は前年割れで低迷しました。合成ゴム業界は国内が前年並みで推移し、輸出は堅調に推移いたしました。

このような環境下、当部門は製品価格の修正に取り組みました。

当部門の売上高は103億7千2百万円で、前年同期に比べ11億4千5百万円(12.4%)の増収となりました。営業利益は8億1千9百万円と前年同期に比べ2億円(32.3%)の増益となりました。

(製紙用薬品事業)

当期間中の国内の製紙業界は、米国経済減速の影響を受け段ボール原紙の需要が減少し、期初好調であったチラシやカタログなどの商業用印刷用紙の販売も国内外の景気減退の影響で陰りがみえはじめました。収益面では、重油や木材チップ等の原燃料高によるコスト増があったものの、値上げが浸透し、収益が改善しました。

このような環境下、当部門は製品価格の修正や収益改善に取り組みましたが厳しい結果となりました。海外事業におきましては、中国での需要拡大は長期的には今後も続く見通しですが、今期は米国での景気減速の影響を受け、前期のような伸びは期待できない状況です。

当部門の売上高は67億5千4百万円で、前年同期に比べ3億6千5百万円(△5.1%)の減収となりました。営業利益は5億2千7百万円と前年同期に比べ4千8百万円(△8.4%)の減益となりました。

(電子材料事業)

当期間中の当部門に関連する自動車業界は、国内の自動車の生産台数は横這いで推移したものの、北米・欧州等での減産が影響し、自動車用の電子材料部品や自動車部品用ろう付け材の需要が減少しました。

このような環境下、当部門は、減収減益となりました。

当部門の売上高は22億6千8百万円で、前年同期に比べ2億6千1百万円(△10.3%)の減収となりました。営業利益は1億8千3百万円と前年同期に比べ3億3千5百万円(△64.6%)の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は前期末に比べ2千8百万円増加しました。自己資本比率は56.0%となりました。増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が12億4千1百万円増加しており、原材料が3億7千5百万円減少しております。固定資産では投資有価証券が4億1千9百万円減少しております。流動負債では支払手形及び買掛金が2億1千8百万円、短期借入金4億7千4百万円増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期のわが国経済の見通しにつきましては、原材料価格の動向や金融危機による景気後退が懸念され、先行き予断を許さない状況にあると思われまます。このような経営環境のもと、当社グループは研究開発を強化し、特徴のある製品開発を図り、一層のコストダウンを推進して、収益力の強化に取り組んでまいります。一方、海外事業におきましては、需要が拡大する地域での販売を積極的に推進し、グループ力を結集して、売上、収益基盤の拡大に注力してまいります。

なお、当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日)の通期の業績予想につきましては、平成20年7月31日の第1四半期決算発表時の公表数値を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、評価基準については、原価法から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は30百万円減少しております。

③ 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日実務対応報告第18号)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間から、機械及び装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産については耐用年数を短縮して減価償却費を算出する方法に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は12百万円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,676,325	3,030,835
受取手形及び売掛金	14,365,750	13,124,243
商品	8,883	9,450
製品	1,913,296	1,887,705
半製品	341,066	153,721
原材料	3,540,845	3,915,954
その他	1,118,088	1,227,779
貸倒引当金	△39,866	△38,164
流動資産合計	23,924,390	23,311,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,259,187	5,339,331
土地	8,126,776	8,044,518
その他（純額）	4,411,377	4,466,984
有形固定資産合計	17,797,340	17,850,833
無形固定資産	182,356	222,617
投資その他の資産		
投資有価証券	4,965,994	5,385,247
その他	1,937,982	2,019,079
貸倒引当金	△83,605	△93,065
投資その他の資産合計	6,820,371	7,311,261
固定資産合計	24,800,068	25,384,713
資産合計	48,724,459	48,696,239

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,132,534	6,913,847
短期借入金	7,092,220	6,617,604
1年内返済予定の長期借入金	467,889	522,735
未払法人税等	123,196	112,154
役員賞与引当金	8,750	30,000
その他	1,872,213	2,186,347
流動負債合計	16,696,804	16,382,689
固定負債		
長期借入金	1,297,885	1,525,398
退職給付引当金	482,695	429,146
役員退職慰労引当金	324,110	292,290
長期預り保証金	1,304,357	1,371,055
その他	392,429	121,999
固定負債合計	3,801,478	3,739,889
負債合計	20,498,283	20,122,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012,951	10,012,951
資本剰余金	9,744,379	9,744,379
利益剰余金	8,494,077	8,490,871
自己株式	△57,129	△56,231
株主資本合計	28,194,279	28,191,970
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△352,640	△16,065
繰延ヘッジ損益	—	△4,053
為替換算調整勘定	△578,169	△519,159
評価・換算差額等合計	△930,810	△539,279
少数株主持分	962,706	920,968
純資産合計	28,226,176	28,573,660
負債純資産合計	48,724,459	48,696,239

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	19,525,623
売上原価	15,366,424
売上総利益	4,159,198
販売費及び一般管理費	3,533,212
営業利益	625,986
営業外収益	
受取利息	16,845
受取配当金	32,813
不動産賃貸料	65,889
その他	116,353
営業外収益合計	231,901
営業外費用	
支払利息	131,271
その他	92,354
営業外費用合計	223,626
経常利益	634,261
特別利益	
投資有価証券売却益	60,349
特別利益合計	60,349
特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	694,611
法人税、住民税及び事業税	90,677
法人税等調整額	188,869
法人税等合計	279,547
少数株主利益	91,804
四半期純利益	323,259

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	694,611
減価償却費	743,317
のれん償却額	496
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,497
受取利息及び受取配当金	△49,742
支払利息	131,271
為替差損益(△は益)	△4,334
持分法による投資損益(△は益)	△22,216
有形固定資産売却損益(△は益)	466
売上債権の増減額(△は増加)	△1,259,292
たな卸資産の増減額(△は増加)	75,546
仕入債務の増減額(△は減少)	273,366
その他	105,410
小計	708,396
利息及び配当金の受取額	63,210
利息の支払額	△138,691
法人税等の支払額	△81,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△713,244
有形固定資産の売却による収入	14,171
投資有価証券の取得による支出	△122,350
投資有価証券の売却による収入	168,086
貸付けによる支出	△57,000
貸付金の回収による収入	35,485
その他	△20,560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△695,412
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	484,719
長期借入金の返済による支出	△257,214
配当金の支払額	△311,544
少数株主への配当金の支払額	△48,335
会員預り金の返還による支出	△64,314
その他	△897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△354,500
現金及び現金同等物の期首残高	3,030,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,676,156

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

単位:千円(未満切捨て)

	樹脂化成品 事業	製紙用薬品 事業	電子材料事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,372,055	6,754,537	2,268,429	130,600	19,525,623	—	19,525,623
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	10,372,055	6,754,537	2,268,429	130,600	19,525,623	(—)	19,525,623
営業費用	9,552,638	6,227,183	2,084,709	173,135	18,037,666	861,970	18,899,636
営業利益(営業損失△)	819,417	527,354	183,720	△42,534	1,487,956	(861,970)	625,986

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

単位:千円(未満切捨て)

	日本	南北アメリカ	アジア	欧州	計	消去又は全社	合計
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,977,027	1,902,373	1,632,378	13,843	19,525,623	—	19,525,623
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	400,560	93,560	393,925	—	888,046	(888,046)	—
計	16,377,588	1,995,933	2,026,303	13,843	20,413,669	(888,046)	19,525,623
営業費用	14,968,422	1,910,450	1,813,688	89,308	18,781,869	117,766	18,899,636
営業利益(営業損失△)	1,409,166	85,483	212,615	△75,464	1,631,799	(1,005,812)	625,986

【海外売上高】

当第2四半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

単位:千円(未満切捨て)

	南北アメリカ	アジア	欧州	計
I 海外売上高	1,986,758	2,086,783	13,843	4,087,386
II 連結売上高				19,525,623
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.2	10.7	0.0	20.9

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

前第2四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前同四半期 平成20年3月期 第2四半期
	金額
売上高	19,005,492
売上原価	14,847,095
売上総利益	4,158,397
販売費及び一般管理費	3,350,951
営業利益	807,445
営業外収益	
受取利息	34,786
持分法による投資利益	32,407
その他	312,925
計	380,118
営業外費用	
支払利息	121,383
その他	122,442
計	243,826
経常利益	943,738
特別利益	234,360
特別損失	347,520
税金等調整前四半期純利益	830,578
法人税、住民税及び事業税	79,488
過年度法人税等戻入額	△640,786
法人税等調整額	△551,239
少数株主利益	82,086
四半期純利益	1,861,028

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区分	前同四半期 平成20年3月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	830,578
減価償却費	666,057
減損損失	121,121
のれん償却額	32
役員賞与引当金の減少額	△ 18,500
役員退職慰労引当金の減少額	△ 456,140
貸倒引当金の減少額	△ 9,719
退職給付引当金の増加額	35,486
受取利息及び受取配当金	△ 68,205
支払利息	121,383
為替差益	△ 11,388
持分法による投資利益	△ 32,407
有形固定資産売却益	△ 425
投資有価証券売却益	△ 275,540
売上債権の増加額	△ 538,638
たな卸資産の増加額	△ 1,428,680
仕入債務の増加額	381,469
その他	197,336
小計	△ 486,181
利息及び配当金の受取額	81,681
利息の支払額	△ 128,625
法人税等の支払額	△ 72,819
法人税等の還付額	247,444
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 358,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却による収入	10,000
有形固定資産の取得による支出	△ 1,042,441
有形固定資産の売却による収入	4,123
無形固定資産の取得による支出	△ 6,365
投資有価証券の取得による支出	△ 531,366
投資有価証券の売却による収入	1,142,021
長期貸付けによる支出	△ 21,820
その他	61,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 384,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	1,195,028
長期借入金の返済による支出	△ 277,260
配当金の支払額	△ 233,716
少数株主への配当金の支払額	△ 14,070
預り保証金の返済による支出	△ 98,480
その他	△ 2,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	568,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,563
現金及び現金同等物の増加額	△ 134,598
現金及び現金同等物の期首残高	2,299,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,164,711

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

(単位：千円)

	樹脂化成品 事業	製紙用薬品 事業	電子材料事業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,227,036	7,120,030	2,529,484	128,942	19,005,492	—	19,005,492
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	9,227,036	7,120,030	2,529,484	128,942	19,005,492	(—)	19,005,492
営業費用	8,607,887	6,544,576	2,010,553	183,897	17,346,914	851,132	18,198,047
営業利益(営業損失△)	619,148	575,453	518,930	△ 54,955	1,658,578	(851,132)	807,445

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

(単位：千円)

	日本	南北アメリカ	アジア	計	消去又は全社	合計
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,853,348	2,625,601	1,526,542	19,005,492	—	19,005,492
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	528,483	16,077	441,057	985,618	(985,618)	—
計	15,381,832	2,641,678	1,967,600	19,991,111	(985,618)	19,005,492
営業費用	14,203,234	2,464,090	1,700,297	18,367,623	(169,575)	18,198,047
営業利益	1,178,597	177,588	267,302	1,623,487	(816,042)	807,445

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

(単位：千円)

	南北アメリカ	アジア	その他	計
I 海外売上高	2,635,327	1,782,071	—	4,417,398
II 連結売上高				19,005,492
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.9	9.4	—	23.2

平成21年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	20/3期		21/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
連結	12.9億円	21.9億円	7.2億円	15.0億円

2. 減価償却実施額

	20/3期		21/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
連結	6.6億円	14.7億円	7.4億円	15.0億円

3. セグメント別売上高

	20/3期		21/3期	
	上期(実績)	通期(実績)	上期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	92.2億円	192.9億円	103.7億円	213.0億円
製紙用薬品	71.2億円	139.4億円	67.5億円	136.0億円
電子材料	25.2億円	50.4億円	22.6億円	48.0億円
その他	1.2億円	2.6億円	1.3億円	3.0億円
合計	190.0億円	385.5億円	195.2億円	400.0億円